



愛  
惜

- AISEKI -

KIMETSU no YAIBA  
UNOFFICIAL FANBOOK #1  
KYOJURO RENGOKU × TANJIRO KAMADO

ADULT  
ONLY



## ATTENTION

- ◇無限列車での戦いのその後の物語。
- ◇煉獄さん生存if、炭治郎継子if。
- ◇作者の画力の問題上、煉獄さんの左眼は無傷です。
- ◇ぬるいですが成人向け表現があります。
- ◇煉炭ならなんでも読める方向け。

和名：アカシア  
花言葉：「秘密の恋」

それは恋の音だよと、

そう教えてくれたのは  
善逸だった





輝きを詰めた  
小箱のような

まるで幼い頃  
大切にしていた



生まれて初めての  
感情だったの

ワクワクして  
キラキラして



大事にしたい、  
そう思った



だから俺はその感情が  
誰の目にも触れないように

胸の小箱にしまい込んで



そつと蓋をしたんだ。

どうした竈門少年!!





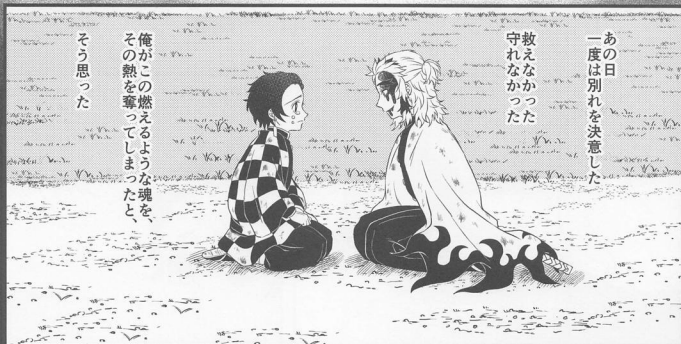


——太陽のような人だと思ふ



…うん？

どうした



あの日  
一度は別れを決意した

救えなかった  
守れなかった

俺がこの燃えるような魂を、  
その熱を奪ってしまったと、

そう思った

祈るだけの日々は  
長く苦しかったけど

俺の名前を呼んで、  
手を取って導いて、

朝日に溶けるような  
あの美しい瞳に、  
もう一度俺を  
収めてほしくて

願いが届いた  
あの瞬間の衝撃は  
一生忘れない

我

煉獄さんが鬼殺隊の  
任務に復帰してすぐ

俺は正式に煉獄さんの  
継子になった

任務の無い日は  
へトへトになるまで  
稽古をつけてもらう

煉獄さんのお屋敷に  
住み込みで面倒を見て  
もらうことになった

よく  
頑張ったな！

すべてはその背中に  
少しでも早く  
近づいたためだった

わっ!!

.....

煉獄さんの盾になりたい  
少しでも煉獄さんの  
役に立ちたい

その炎のような熱を  
感じていたい  
誰よりも近くで、  
誰よりも強く



あとたまに  
距離が近い時なんて  
すごくいい匂いが  
したりして、

ずっとそばにいられたら  
いいなと思うけど







竈門少年?!

どうした!

!!!



うわあ!



だとしたら  
どうして泣いて...

いいえ!  
身体はビンビン  
しています!!

では怪我をしたところが  
痛むのか!?

いえ、  
そんなことはなく...

どうして泣いている!?  
妹御を悪く言う隊員でも  
いたのか!?

れっ  
煉獄さん!?



ははっ、そうか



...玉ねぎ

ですね...

.....

.....

——柔らかくて甘い、  
春の陽だまりのような匂い……

IP  
ッ

!!

自覚をした途端に  
溢れてしまいたいようになる

……ああ、いけない

暖かくて  
優しい手……

どうもないのなら  
よかった

この胸を締め上げて苦しい  
想いの結び目だけは絶対に



解いてはいけない  
弛めてはいけない

こうなったら  
残された手段は一つだ

鍛錬!!

それしかない!!

？



頑張れ炭治郎 頑張れ

……はあ



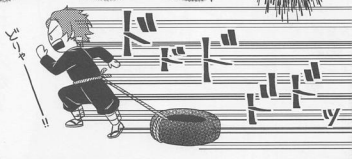
うおおおおお



ズンズン



この甘ったれた思いも  
鍛え続けられればいつかは……!





炭治郎、お前最近なんか妙に疲れてない？

変な音までさせちやつてさあ

うぎぎぎ

…そうか？  
そんなことないぞ善逸

いいや俺の耳は誤魔化せないね！



ハアー!!

どうせあの炎柱さん絡みのことじゃないのお？

ど、どうしてそこに煉獄さんが出てくるんだ

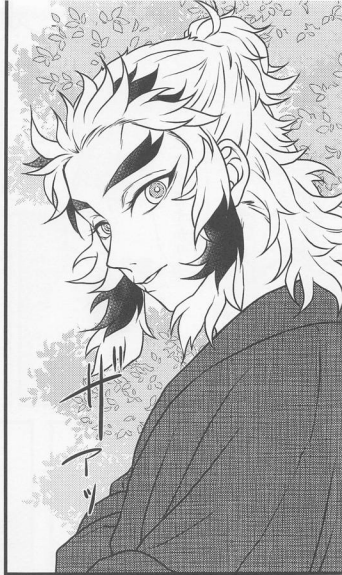
なあ、どうでもいいけどよ



あそこに突っ立ってるの

ギョロギョロ目ん玉じゃねえのか？

シヤッ





お、俺をですか？

えっ

いや！  
君を待っていた！

煉獄さんも蝶屋敷に  
御用ですか？

只今戻りました！

黄色い少年、  
猪頭少年、  
竈門妹も任務  
ご苦労だったな！



…そんなに  
生き急いでくれるな



最近の君は、  
いささか無理を  
しているように  
窺えてな

煉獄さん  
気が付いて…

ツツツ！

そうか！  
ありがとう！

この話は  
これでお終いだな！

……だ、  
ダメでは  
ないです…

君の笑った顔を  
傍で見られないのは  
とても寂しかった

今夜は  
久しぶりに君とゆっくり  
話がしたいのだが  
ダメだろうか？

俺は先に屋敷に  
戻っているでしょう！

ヒューー！！

……









最近の君の様子がおかしかった理由を聞いても？



：言いにくい事であれば無理にとは言わないが



最近の煉獄さんからとても

あ、甘い匂いがして…



しっ、失礼な態度をとってしまったすみませんでした！

その、ですね…



心のどこかで期待してしまってた…

想いが溢れて止まらない



気味悪く思われるだろうか

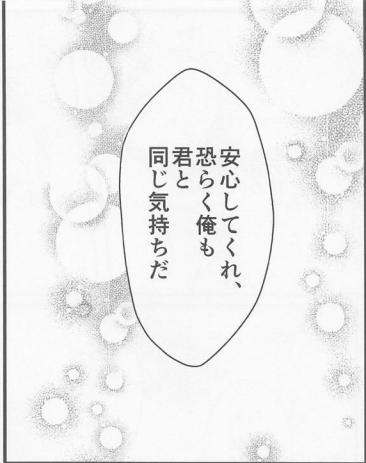
でも、

頭なんかよく撫でてもらって



えっ

ぽっ



安心してくれ、  
恐らく俺も  
君と  
同じ気持ちだ



スリ

気がつかない程  
俺も野暮じゃない

顔を  
赤らめる君に

!



こうして俺が  
触れるたび

あの  
無限列車での  
戦いで俺は

命を  
落としたとしても

君たちを守れたのなら  
悔いはないと  
そう思っていた

でも、  
動けなくなった  
俺の目の前で  
大粒の涙をこぼす  
君を見て

どうにかして  
その涙を拭って  
やりたかった

よく頑張ったなど  
頭を撫でて  
やりたかった

力の入らない己の腕が  
もどかしくて  
仕方がなかった

だから  
今こうして

何の隔たりもなく  
君に触れる  
ことができて

俺は  
とても嬉しい

君が好きだ、炭治郎

そして君も

俺と同じ想いで  
いてくれたら嬉しい



お付き合い  
はじめて♡





とあ！

煉獄さん！！

今日こそ  
まぐわいましょう  
煉獄さん!!

またその話が  
少年!?

俺達は  
想いを告げ合って  
まだ二週間と経って  
いないんだぞ?

でもほら!  
善は急げと  
言うでしょう!?

今がその言葉を  
使う時なのか!?

一体  
どうしたと  
言うんだ少年

俺としては  
こういうことは  
もつと段階を  
踏んでゆくもの…

…お、俺じゃ  
ダメですか??

最近はとにかく  
その事ばかりで…







逃げられないと  
思いなさい

煽ったのは君だ



君を抱く



……はこ

今しがた  
任務を終えた

明日の夜には  
そちらに戻れるだろう



煉獄さんが  
帰ってくる…  
明日は俺も非番だ、  
鬼の急襲がなければ

明日の夜…



この一週間、  
任務と稽古の合間を縫って  
出来る限りの準備をしておいた

俺は山育ちで  
こう言ったことに疎いし  
煉獄さんの手を煩わせたくない



尻の穴には  
根性で指三本まで  
入るようになった

これで何とか  
なるだろうか

くち、  
くち、

はっ

あゝ



千寿郎くん極寿郎さん  
「めんなさい…!!!」

せっせ





ん？



君はそんなにこの廊下が好きなのか？



煉獄さん  
俺、っ…



…今更  
やめるだなんて  
言ってくれるなよ



こちらにおいで

うわっ!!







煉獄さんが  
生きています、

より堅いものに  
したかったです

俺っ、煉獄さんに  
結んでいただいた  
この縁を



俺のこと

抱いて  
ください  
ますか？



この身体すべてで  
確かに感じたいんです







大分ほぐれてきた  
気がする

涙や涎でドロドロだ  
みつともない



煉獄さんは  
こんな俺を見て

気持ち悪くは  
ないだろうか？

ドクッ



!!

ドクッ



.....  
!!

——情けないが今  
自分を抑え込むのに  
必死なんだ

本当は今すぐにでも  
君の中に入りたいと  
思っている



グッ



煉獄さんが優しく  
解してくださったので  
もう大丈夫です

お待たせして  
ごめんなさい

俺ももう  
限界です

俺の中に来てください







ああ

あたたかい…

千千ッ





あの日、俺が再び  
夜明けを迎えることが  
できたのは間違いなく

炭治郎、  
君が居て  
くれたからだ

だから今度は俺にも、  
君の無事を  
君の帰りを

君の一番近くで  
祈らせてくれないか




…お、俺も！  
俺にも祈らせて  
くれますか!?

ああ、  
もちろんだとも！

どんな言葉より  
俺の力になる






必ずや悲願を  
達成しよう

そしてそれが  
叶った後は

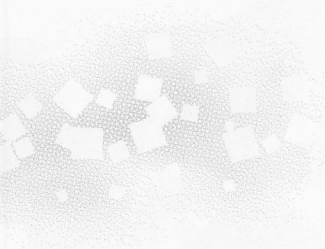
炭治郎、  
俺と共に生きて  
くれるか？



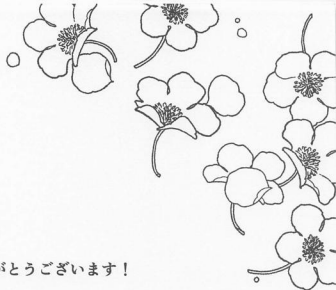
もちろんです！

ずっと貴方の  
おそばに…









はじめまして!しょにと申します。  
この度は拙本をお手に取っていただきありがとうございます!  
大好きです!!!!

無限列車乗車後に煉炭沼にハマって早一年…  
これまで様々な場面で幾度となく目にしてきた煉炭が結ばれるまでの道程ですが、  
どうしても自分なりの表現で描いてみたいと思いこの本を作りました。  
エロもほぼ初挑戦でした。大変ぬる〜い仕上がりとなり申し訳ありません…  
次の機会があればもっと2人をグチャグチャにしたいですね!!←

そして!!!!!!  
左ページのめちゃくちゃ最高な煉炭ちゃんは、  
垢開設当初から仲良くしてくださっている女神ことハラミさんが、  
今回、寄稿をお願いしたいという私のとんでもないワガママを  
二つ返事で叶えて下さったものです!!  
煉炭ちゃん全部盛りです!ヒュ〜〜〜!!好き!!  
本っっっ当にありがとうございます家宝にします!!!

約4ヶ月に渡る原稿生活、大変でしたがその分すごく楽しかったです!!  
想いが込もりすぎて長くなりそうなので、今回はこの辺で!  
また皆様とこうしてお会いできますように。

しょに





はじめまして、ハラミと申します。  
この度、ありがたいことにしよにさんの  
御本に寄稿させていただきました！  
光栄すぎてビビリ倒してます…ありがとう  
ございます！！  
ここぞとばかりに色々な世界軸の煉炭を  
描けて楽しかったです。  
どの世界軸でも幸せになって…！

ハラミ (Twitter : @harami3ninmae)



# 愛惜

しのめ/しょに  
Twitter @shoni\_102  
pixiv 9784132

発行日 2022年3月21日  
印刷所 緑陽社様

この本は個人的に作られた非公式ファンブックです。  
同好者の間だけで楽しむために作られた二次創作の同人誌で、  
原作者様、出版社様とは一切関係ありません。

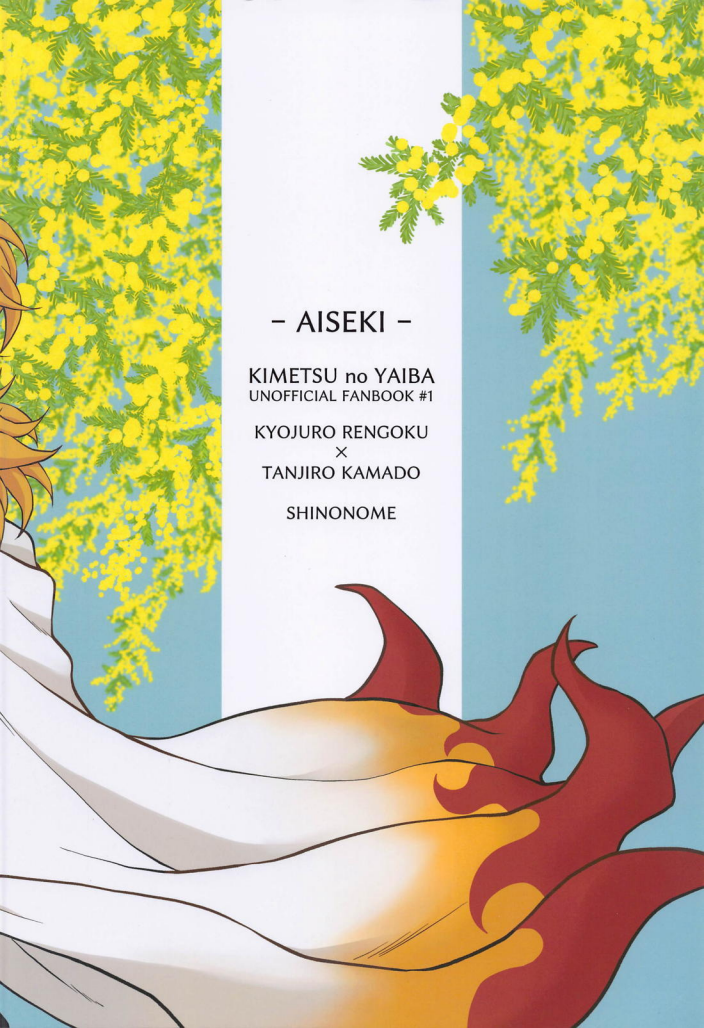
無断転載、複製、複写、インターネット上への転載  
(SNS、ネットオークション、フリマアプリ含む)は禁止です。  
転売も禁止です。

二次創作をご存じない一般の方や、  
関係者様の目に触れぬようご配慮お願いします。  
公共の場での閲覧はご遠慮ください。  
処分する際は中身の分からない状態にいただいた上で  
可燃ゴミとして廃棄してください。

もし感想などございましたら  
是非こちらからお願いいたします！



読んだよ、のご報告だけでも！  
泣いて喜びます！！



– AISEKI –

KIMETSU no YAIBA  
UNOFFICIAL FANBOOK #1

KYOJURO RENGOKU  
×  
TANJIRO KAMADO

SHINONOME